

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について
記

【受付番号】 研究課題名	【06-007】 精神科領域に問題を有する患者に対する救急医療を改善するために救急医に求められる素養に関する考察-多施設記述研究-
研究の意義・目的	<p>精神科領域に問題を有し救急車で搬送される患者さん(以下、精神科関連救急患者)は、救急医療において搬送先の病院が決まらないなどの問題が以前から指摘されてきました。</p> <p>これらの解決には、救急医療システムの改善はもちろん必要ですが、病気の特徴を適切に理解して対応するなど医療スタッフ個人の診療技術の向上も必要です。</p> <p>しかし、後者は前者と比較して検討しづらく科学的に検証したデータが不足しています。また、データがあったとしても精神科診療に従事する者と救急診療に従事する者とは、さまざまな価値観に隔たりがあるため、両方の集団にそのデータをもとに還元を行うことは容易ではありません。</p> <p>そこで我々は、その第一段階の研究として、医療スタッフに焦点を当てた検証を行うために、救急医療現場で発生した精神科に関わる問題点を詳細に記述する研究を企画しました。</p> <p>このデータが得られることにより、救急医療の改善には医療スタッフの診療技術を含めた改善が必要であり、どのようなことを救急診療に従事する者が求められているのか、を明らかにするのに役立つと考えられます。</p>
実施期間(西暦)	研究承認日～2030年3月
研究の対象	主研究者が2022年10月1日から2024年7月31日のあいだに、次の病院(自衛隊中央病院、東大和病院、平成立石病院、新百合ヶ丘総合病院)において、精神科に関係する内容において診療に関与をした患者さん
研究の方法	<p>この研究は多施設記述研究です。前述の条件にしたがって、対象となった患者さんのデータを電子カルテの記録から収集します。収集する項目は、下記の通りです。</p> <p>※採取するデータ</p> <p>対応した日付、対応した病院、年齢、性別、東京ルール事案の有無、受診経路、主訴、現病歴、既往歴、診断名、自損行為の有無、自殺企図の有無、精神科通院歴の有無、介入の内容、介入現場(病院前、ER、病棟、その他)、精神科専門医の必要性、症例の問題点、問題点の種類(ハード、ソフト)、想定される患者さんへの害、救急外来での転帰、Psychiatric Evaluation Emergency Careコースで解決できる可能性があるかどうか</p>
個人情報の取扱い	<p>それぞれ個人が特定できる個人情報(名前、住所、電話番号など)は用いることはありませんが、データは慎重に管理を行います。自衛隊中央病院救急科が保有するインターネットに接続しないclosed PCで保管します。管理責任者は救急科部長です。また本研究では、すべての解析を自衛隊中央病院で実施するため、共同研究機関へのデータ提供は行いません。</p> <p>もしデータの使用を拒否する場合は下記連絡先までお問い合わせいただきその旨を研究責任者までお伝えください。ただし、データ解析後(2024年12月31日以降)、データ使用の撤回は事実上できませんのでご注意ください。</p>
研究機関代表者	自衛隊中央病院長
問い合わせ先	<p>自衛隊中央病院</p> <p>所 属:救急科</p> <p>担 当:医師 寺山毅郎</p> <p>TEL:03-3411-0151(代表)内線:6245</p>